



本当の中国が見えてくる 日本人妻の歯ざしり ～空腹は悪？～

中国人は食べることを大事にする、と前から思っていた。「食べることを大事にする」とは、栄養やカロリーを考慮して食事を摂るといふことではなく、「時間通りに3食きっちり」、または「お腹が空くとすぐ食べる」といふことだ。

朝食は中国では昔から重視されており、「朝は食欲がないからコーヒーだけ」なんてことは聞いたことがない。家で食べる時間がない人も、「早点」という軽食（油条、煎餅、包子、豆乳など）を街角で売っており、通勤途中に買うことができる。近年はコンビニで牛乳とサンドイッチという人も多いようだ。夕食は自宅で食べる人がほとんどで、日本のように退社後、同僚や友人と一杯、というのはほとんどない。皆、終業時間ジャストに職場を出、家に向かう。夕食を作るのは、男女問わず先に帰宅した人、というのが一般的な家庭のルーティンらしい。昼食は、外食、出前、お弁当など様々だが、休憩の時間になると皆、仕事を中断して食事に行く。日本では「昼休みだけ、切りのいいところまでやってから」とか、「今日は忙しくてお昼ごはんは2時だったよ」なんてことは珍しくないだろうが、ここではめったにない。うちの工場でも、12時のベルが鳴ると同時に、皆持ってきたお弁当を食べ始める。お弁当は、事前に電子レンジで温めておくのだ。

ちゃんと食事をして、お腹が空くことはある。そんな時、ここではほとんどの人が迷わず何かを口に入れる。ずっと前日本語を教えていた時、授業中に一人の学生がビスケットを出して一枚食べたことがあった。私はその行為に驚き、「授業がつまらないのか？いや、ただお腹が空いただけなのか？」と、話を続けながらもうたえた。でも、見過ごすわけにはいかないと思い、「お腹が空いても授業が終わるまで食べるのは待ってほしい。我慢できなければ飲み物を飲んで」と言ったことを覚えている。今の工場に来て間無しの頃、ある従業員が「お腹すいた！」と大きな声で言ったことがあった。すると、傍

にいた人が「えっ、それは大変！すぐ食べて、早く！」と、自分が持っていたクッキーを出してその人に食べさせた。「何？お腹が空くのが大変なこと？仕事中でしょ？」と憤慨した私は、その当時の主任に「お腹が空いたら仕事中でも食べないといけないの？」と聞いた。すると主任は、「お腹が空いたら我慢できないだろう」と答えたのだ。私は仕事中に物を食べるなんてとんでもないと思うタイプだが、ここでは仕方ないのかとあきらめた。でも、商品の中に食べ物のくずが入ると困るので、「何か食べる時は離れた場所です、手早く」ということを決めた。今でも皆、少しもお腹が空くと、ビスケット一枚、バナナ一本、というふうにおやつを食べている。先日も仕事中に張さんが、「あーお腹空いた！」とクッキーを食べながらこんなことを言った。「お腹が空きすぎると低血糖になって体調が悪くなるわね。私の娘は、通勤途中に地下鉄の中で低血糖になったことがあるのよ。脂汗をかいてぐったりしているところを他の乗客が発見してくれて、駅員さんにチョコレートやビスケットをもらって食べて回復したの。それを聞いてから、私も空腹を我慢しないことにしたの。」そういえば、私もお腹が空きすぎて手が震えたことがあった。うーん、空腹を我慢するのは健康に良くないのか？でも、授業中や作業中に何かを食べるといふのはやはり良いとは思えない。マナーを守って、常識の範囲で、ということか。

中国のお正月、「春節」が近づきました。春節前のいろいろです。

①自家製「腊八醋」。黒酢に、にんにくを漬けたものです。一カ月ほど漬けるとにんにくが青くなって、辛さがまるやかにになります。中国北部の習慣で、年越しの餃子をこのお酢で食べると、その一年、平穩に過ごせるといわれています。

②「自家製ソーセージと干し肉」。うちの近所に、毎年この季節になるとソーセージや干し肉を作って売るお店があります。寒風に晒すのが良いらしく、これを見ると今年も冬が来たなあと思います。

③ショッピングモールの龍。立派だったので撮ってみました。今年は辰年なので、龍の飾りをよく目にします。

④門や壁に貼る縁起物の「春聯」。今年には有名寺院のものをいただきました。

⑤日本でもおなじみの「ぼち袋」です。夫の甥の子ども用。中国では子どもが生まれたら次の年からお年玉をあげる習慣で、金額もかなりです。上海では高く、月給の三分の一ぐらいでしょうか。痛い出費です。（写真左上）

⑥「年夜饭の食事」。写真は拝借したものです。が、春節前には「年夜饭」といって、職場や親族で忘年会のような食事を開きます。家庭で料理を作ってもなす人もいれば、レストランやホテルを予約して盛大に開く人もいます。年に一度だから、年夜饭は豪華です！（写真は右上）



profile さねみつ じゅんこ
岡山県出身 上海市在住 家族：夫、犬1匹、猫2匹。

1989年 大学卒業後、教育・福祉関係の仕事に就く。1997年 中国人の夫と結婚。
1998年 夫の赴任で上海に引っ越し、上海済経大学で中国語を学ぶ。
2000年 日本語教師の仕事に就く。
2005年 上海同済大学大学院入学。
2008年 卒業。
2008-2011年 病気治療のため日本に帰国
2011年 上海に戻り、夫の経営する会社の工場勤務 今に至る



③



④



②



①